

事業名：千葉県通学路安全推進事業（学校安全総合支援事業）

モデル地域：柏市立田中中学校区

拠点校：柏市立田中北小学校

所轄教育委員会：柏市教育委員会

1 モデル地域の現状

(1) モデル地域の現状

○モデル地域名：柏市田中中学校区

○学校数：小学校3校・中学校1校
高等学校1校

(2) モデル地域の安全上の課題

国道16号線や県道が混在し、国道や県道を横断しなければならない児童・生徒も多い。また、住宅街の街路も幼稚園の送迎バスや県道の抜け道として速度を上げて通過する車両が多く、出合頭の事故に注意が必要な地区である。

拠点校である田中北小学校では、移転開校に向け、PTAをはじめ地域の方、警察、道路管理者が想定される通学路を歩き、危険箇所を洗い出し対策を重ねてきた。

しかし、多くの児童は、新しい通学路を通り登下校しているため、それぞれの通学路の危険箇所を把握させ、自ら危険を予測し、回避する力を育成する必要がある。

2 モデル地域の事業目標

- ・交通安全に係る取り組みを行うことで、児童・生徒の交通ルールの順守の意識を醸成する。
- ・田中北小学校の移転開校にあたって検討した通学路の安全対策等をモデル地域内の学校と共有するとともに、本事業を通じて、通学路における学校安全体制の構築を図る。

3 取組の概要

実施時期	実施事項	参加者
5月	○千葉県トラック協会による交通安全教室 ○スケアードストリート教室 ○自転車交通安全教室	田中北小児童・教員・市教委・柏警察 田中中生徒・教員・市関係部局・市教委・柏警察 田中北小児童・教員・柏警察・市関係部局・市教委
6月	○第1回合同推進委員会への参加	市教委職員・拠点校職員
7月	○第1回実践委員会	実践委員
9月	○児童目線による安全マップ作り ○交通安全教室 ○自転車交通安全教室	有識者・田中北小・児童・教員 花野井小児童・教員・柏警察・市関係部局・市教委 市立柏高校生徒・職員・柏警察・市関係部局等・市教委
11月	○公開授業	田中北小児童・職員・有識者・柏警察・市関係部局・市教委・県関係部局・市内教職員
12月	○スケアードストリート教室 ○交通安全教室	田中北小児童・職員・市教委 田中小児童・職

2 月	○第 2 回実践委員会 ○第 2 回合同推進委員会への参加	員・柏警察・市関係部局・市教委 実践委員 モデル校教頭・市教委
-----	----------------------------------	---------------------------------------

4 具体的な取組

(1) 安全教育の充実に関する取組

ア 安全教育の充実に関する取組

(7) 実践委員会における情報共有

7 月、12 月に実践委員会を開催し、情報交換の時間を設け、各学校の実践等について共有を図った。また、田中北小学校の移設開校に向けて、関係機関等と検討した安全対策について情報提供した。

＜実践委員＞

東京都市大学准教授、柏警察交通課長、県教育庁東葛飾教育事務所指導主事、田中北小学校 P T A 会長・校長・教頭・安全主任、田中小学校安全主任、花野井小学校安全主任、田中中学校安全主任、市立柏高等学校安全主任、柏市危機管理部次長兼防災安全課長

(イ) 公開授業の開催

モデル地域内拠点校を会場に、公開授業を実施した。

日時：令和 6 年 11 月 26 日

テーマ：新設移転した私たちの学校に通学路安全マップを作ろう

内容：3 年生が 8 グループに分かれ自分の通学路の危険箇所について洗い出し、実地調査を行い、その結果を交通安全マップとしてまとめた。あわせて、一般的な交通規則や道路

標識を学ぶとともに駐在所警察官にインタビューを実施した。最終的には保護者、地域の方等に発表し、知識をより強固なものとした。それにより様々な交通場面における危険について理解し、自分自身の安全を守るために自分たちでできることを考え、選択、判断、行動する力を養った。

参加者：田中北小学校児童・職員、東京都市大学准教授、柏警察交通課、県教育庁指導主事、東葛飾教育事務所指導室長、柏市教育委員会教育長・児童生徒課長・指導主事・一般事務、柏市危機管理部次長兼防災安全課長・一般事務、モデル地域内を始めとした市立小中学校職員、保護者、地域住民ほか



(ウ) 講演会の開催

モデル地域内拠点校において、東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科准教授稲垣具志氏による講演会を実施した。

日時：令和 6 年 11 月 26 日

テーマ：子どもの道路横断の判断能力とは？ ～交通安全教育における家庭・地域の役割～

内容：小学生の交通事故の約 8 割が身近な道路で起こっている。また、発生状況をみると半分が信号無視、飛び出しなど歩行者側の違反であり、子供の能力の特性、限界を適切に把握する必要がある。そこで、子供がどの距離まで横断可能と判断しているか実験した。その結果から子どもの認知、判断、行動能力の不備を補うためには、地域住民が主体となって声掛け等を行い、子どもの安全を守ることが重要であると講演していただいた。

参加者：田中北小学校児童・職員、東京都市大学准教授、柏警察交通課、県教育庁指導主事、東葛飾教育事務所指導室長、柏市児童生徒課長・指導主事・一般事務、柏市防災安全課一般事務、モデル地域内を始めとした市立小中学校職員、保護者、地域住民ほか



(イ) トラック協会による交通安全教室

千葉県トラック協会の協力を得て田中北小学校を会場に交通安全教室を実施した。

実施日：令和 6 年 5 月 15 日

内容：横断歩道を渡る際の注意点

や自動車等の内輪差について説明を受けた後、実際にトラックの運転席に座り、運転手から歩行者がどのように見えるのかを疑似体験した。

参加者：千葉県トラック協会、田中北小学校児童・職員、柏警察交通課、柏市防災安全課・児童生徒課



(オ) スケアードストレイト教室

田中中学校で、スタントマンによる交通事故再現を基にした交通安全教室を実施した。

内容：全学年が自転車の交通ルール、自動車等の内輪差、ながら運転（歩行含む）の危険性などについて講義を受けた。

参加者：田中中学校生徒、教員、柏市防災安全課・児童生徒課、柏警察交通課、東葛飾教育事務所指導主事

(カ) 自転車交通安全教室

田中北小学校で柏警察交通課、市防災安全課による安全な自転車の乗り方教室を実施した。

実施日：令和 6 年 5 月 22 日

内容：自転車乗車時の交通マナーについての講義や実際に自転車に乗車しての実技指導

を受けた。受講後、柏警察から「子供自転車免許証」が交付された。

参加者：田中北小学校児童・職員、
柏警察交通課、柏市防災
安全課・児童生徒課

(キ) 交通安全教室

花野井小学校で柏警察交通課、
市防災安全課による交通安全教室
を実施した。

日時：令和6年9月11日

内容：安全な横断の仕方、自転車
の安全な乗り方、交通事故
統計について学習した。

参加者：花野井小学校児童・職員、
柏警察交通課、柏市防災
安全課・児童生徒課

(ク) 自転車安全教室

市立柏高等学校で自転車安全教
室を開催した。

内容：自転車の交通ルールや自転
車乗車時におけるヘルメッ
ト着用の重要性について柏
警察から講義を受けた。

参加者：市立柏高等学校生徒・教員、
柏警察交通課、柏市防災安全
課・児童生徒課

(ケ) スケアードストレイト教室

スタントマンによる交通事故再
現を基にした交通安全教室を実施
した。

内容：6年生を対象に自転車の交
通ルール、内輪差、ながら
運転（歩行含む）の危険性
などについて講義を受けた。

参加者：田中北小学校児童、教員、
柏市防災安全課・児童生徒課



(コ) 交通安全教室

田中小学校で柏警察交通課、
市防災安全課による交通安全教室
を実施した。

日時：令和6年12月9日

内容：安全な横断の仕方、自転車
の安全な乗り方、交通事故
統計について学習した。

参加者：田中小学校児童・職員、
柏警察交通課、柏市
防災安全課・児童生徒課

イ 安全教育の取組の評価・検証につい て

(ア) 学校安全アドバイザーによる評価

学校安全アドバイザーの東京都市
大学稲垣准教授による安全教育の取
組について、スケアードストレイト
教室等は一時的に効果はあるが、安
全効果を持続させるには見守りなど
地域の力を借りたほうがよいという
助言及び評価をいただいた。

(イ) 柏市の成果指標

安全教育について、共通理解を図っ
ている学校の割合」は、「自転車安全
利用の推進宣言」の学校数を指標とし
た。令和5年度は、42校中1校のみで
あったが、令和6年度は38校に増加
した。

(2) 組織的取組による安全管理の充実に

関する取組

ア 児童による通学路点検を実施する
際の保護者ボランティアの協力

イ モデル地域内各校PTAとの連携

- ・児童・生徒の登下校の見守り
- ・児童の登校付添
- ・通学路の設定

ウ 地域住民ボランティアの協力

- ・登下校の交通安全見守り活動

との連携強化を図る必要がある。

- ・交通安全マップ作成を通じて、通学路における危険箇所等の問題が顕在化した。今後、通学路の安全確保のためには、ハード面の道路環境の改善が必要であり、交通安全プログラム等を通じて市や県、警察に継続して働きかけていく必要がある。

(3) 学校安全の中核となる教員の学校安全推進体制の構築における役割及び中核教員の資質能力の向上に係る取組について

- ・公開授業参観
- ・稲垣准教授による講演の聴講
- ・参観、聴講内容を所属校で周知

5 取組の成果と課題

【成果】

- ・スケアードストレイト等の交通安全教室や交通安全マップ作成等の取組を通じて、児童・生徒の交通ルールを順守する意識が向上した。
- ・実践委員会において、拠点校の取組や移転開校にあたって検討した通学路の安全対策等を情報提供し、他校に普及することができた。
- ・公開授業において、東京都市大学稲垣准教授から「子どもの道路横断の判断能力とは？～交通安全教育における家庭・地域の役割～」をテーマに御講演いただいた。「登下校時の安全確保は地域や保護者の協力が欠かせない。」という指導があり、その内容を、多くの学校で共有したことで、地域とともに安全対策を行っていく気運が高まった。

【課題】

- ・効果的な交通安全教育の継続に向けて、教育課程の編成や地域や関係機関